

Charlotte Translate EP01 (Parte01)

- 1- (オトサカ) ずっと小さい頃から疑問に思っていた。
- 2- なぜ自分は自分でしかなく他人ではないのだろうと。
- 3- 「我思う故に我在り」とは昔の哲学者の言葉だそうだが
- 4- 僕は我ではなく他人を思ってみた。
- 5- あの人も僕なのではないかと。
- 6- 他人を思う そうしたら僕は他人になっていた。
- 7- だが、保って5秒^{ごびょう} その後すぐさま自分に戻される。
- 8- しかも、その間 自分の体は無意識状態になっていて
- 9- 怪我をしている事もよくあった。
- 10- しかも、視界にいる人間にしか乗り移れないから。
- 11- 邪の事には使えなかった。
- 12- せいぜいムカついた奴に乗り移って
- 13- 他人に喧嘩を売って戻る。
- 14- そんな腹いせぐらいにしか使えなかった。
- 15- (人1) マジか。
- 16- (人2) てめえ、何してくれてんだよ。
- 17- だが、ついにその異能力が 存分に発揮できるアイデアを思いついた。

18- (先生) 終了^{ごふん}5分 前

19- クラスで頭のいい奴らに乗り移りまくって解答を暗記して

20- 戻って回答欄を埋めるのを繰り返す。

21- 当然 名門校に進学してやるつもりだ。

22- しかし、普段のテストとは違い。

23- 受験では誰が賢いのか分からない。

24- それから僕はいくつもの名高い進学 塾へ。

25- 塾生のふりをして何度も忍び込んだ。

26- どの受験生がどこを受けるのか。

27- そして、どの教科が得意なのかを 徹底的にリサーチした。

28- そして、僕と同じ志望校を目指す頭のいい受験生を次々と見つけて

29- 無事エリート校に合格した。

30- では、新入生 代表の言葉 ^{おとさか あり う} 乙坂 有宇くん、お願いします。

31- はい。

32- アイツが成績トップってことかよ。

33- しかもイケメンとか。

34- 本日は私たち新入生のためにこのような盛大な式を挙げていただき

35- 誠にありがとうございます。

36- 暖かい春の日差しに包まれ

37- 私たちは伝統ある陽^{よう}の森^{もり} 高校の一員となりました。

38- (ミッチョン) ねえねえ あの人、格好良くない？

39- (ユミ) うん、みっちょんの好みかもね。

40- (ミッチョン) あれあれ ^{ゆみ}弓ちゃん、もう満更でもないご様子。

41- 本日は誠にありがとうございました。

42- マジかよ

43- またか こういう事が増えた。

44- 学年トップの優秀さに加え ルックスだって ^{ほう}イケてる方だ。

45- これでモテないない訳がない。

46- たっく、とっとと帰らせるか。

47- ごめんなさい、こんなところまで呼び出して

48- それはいいけど、僕は用って何かな。

49- あの、友達からでいいので あたしと付き合ってもらえませんかでしょうか。

50- えっと、僕は今の成績を維持するために 寝る前を惜しんで勉強しなくちゃいけない。

51- 誰かの相手をする暇なんてないんだ。

52- だから、ゴメン。

53- もちろん嘘八百だ 勉強なんで一切してない。

54- そうですか 分かりました

55- 突然お呼びしてごめんなさいでした～

56- お前達みたいな普通の女子を 僕が選ぶ訳ないだろう。

57- 狙うは・・・

58- (ミッチョン) えー ^{ゆみ}弓ちゃん昨日のスペシャル見てないの

59- まさにこの学校のマドンナ的存在、^{しろやなぎ}白柳 ^{ゆみ}弓。

60- 僕はお前を 落とす！

61- チャンスは絶対 来る 能力の限界である^{ごびょう}5秒をいかに使うかだ。

62- (ミッチョン) でね ^{さん じ}昨日 3時までメールしてて朝寝坊しちゃって

63- 起きるの大変だったんだ。

64- これだ！

65- だから・・・

66- (ユミ) みっちょん、どうしたの？

67- (学生) 警察 呼んで！

68- (人) 大丈夫か！？

69- (学生 2) 大丈夫そうだ！

70- (学生 3) 良かった！

71- ギリギリだったが、計画通りだ。

72- (ミッチョン) ^{ゆみ}弓ちゃん、大丈夫？

73- (オトサカ) 危ないことだったよ。

74- (ミッチョン) 弓ちゃん、トラックに轢かれ
るそうになったところを 1組の乙坂くんが助け
てくれたんだよ。

75- (ユミ) そう・・・なの？

76- (オトサカ) ああ 怪我はない。

77- (ユミ) あっ痛！

78- (オトサカ) 保健室に行こう、歩ける。

79- (ユミ) はい。

80- (オトサカ) じゃあ 僕は帰るよ。

81- (ユミ) 待ってください！ あっ あの私たち
これから二人で お気に入りのパンケーキを食べ
に行くところだったんですが

82- 一緒にどうでしょうか？

83- (オトサカ) それは遠慮するよ。友達 同士の
ほうがいいだろう。

84- (ユミ) だって、あなたは私の命の恩人です
から。ちゃんとお礼もしたでし。

85- もう少しお話もしたいです。

86- (ミッチョン) おっと着信 誰からだ。えー
だったら帰るね？

87- (ユミ) みっちゃん どうしたの？

88- (ミッチョン) いきなり京都から兄ちゃんが
帰省して

89- 家族分の特上寿司を注文しちゃったって

90- なので 後は二人でよろしく～

91- (オトサカ) 《あからさまの茶番 劇だが ナイスアシストだ、みっちゃん。》

92- (人) お待たせしました。

93- (ユミ) あの、食べ方があるんです。真似てください。

94- こうした方がシロップが全体に行渡ります。

95- そして、重ねてカットして食べてみてください。

96- (オトサカ) すごい！食べ方を変えるだけでここまで美味しくなるなんて知らなかったよ。

97- (ユミ) 何度食べても美味しい。

98- えっと、今 流れてる曲「ハロハロ」ですよね。

99- (オトサカ) えっ ハロハロ？

100- (ユミ) 知らないですか？男の子なら皆知ってると思ってました。

101- (オトサカ) そんなのが流行ってるのか。

102- (ユミ) ^{おとさか}乙坂くん、またこうして一緒に下校したり お食事したりしてもらえませんか。

103- (オトサカ) そうだね。いいよ。

104- (ユミ) 良かった～

105- (オトサカ) おっと 声に出してはまずいな。とっとと行くか。

106- (×) ^{いちくみ}一年 1 組、^{おとさか}乙坂 ^{ありう}有宇くん、至急 生徒会室まで来てください。

107- なんだ？

108- (×) 繰り返します。一年^{いちくみ}1組、乙坂^{おとさか}有宇^{ありう}くん、至急生徒会室まで来てください

109- (オオムラ) 生徒会長の大村です。

110- (オトサカ) 何の用でしょう？人を待たせてるんで 手早く頼みたいんですが。

111- それはあなた次第です。

112- (オオムラ) これはこの前の実力テストでのあなたの答案 用紙のコピー。

113- 見事な満点です。同じテストがそこに置いてあります。

114- この場でもう一度満点を取ってみてください。

115- (オトサカ) は？それに何の意味が？

116- (オオムラ) あなたにはカンニングの容疑がかかっています。

117- 90 点以上なら白。それ以下なら黒と判断されます。

118- (オトサカ) 馬鹿馬鹿しい！帰らせてもらおう！

119- (オオムラ) この件に関しては校長 教頭 の了解を得てのもの。

120- 今 逃げれば退学 処分となるそうです。

121- さ 始めてください。

122- (オトサカ) あそこには全ての答えがある。

123- 乗り移ってそれを知るしかない。

124- バカにしやがって！！！！

125- （オオムラ）何が起きたんでしょう？

126- （オトサカ）僕には ただあなたが破いているようにしか見えませんでしたか？

127- （トモリ）釣れた！

128- どうも、生徒会長の友利^{ともり}です。別の学校のですが。

129- で ずっとここであなたを撮っていました。

130- 今、撮った動画を見てもらえますか。

131- ちゃんと時間を見てください。

132- あなたは彼が答案 用紙を破いているところを見ていない。

133-なのに、あなたは彼が破いたと言う。おかしくありませんか。

134- 他のも見せてあげますよ。

135- あなたは他人に乗り移る特殊 能力がある。

136- それを使って毎回カンニングしている。

137- そうですよ。

138- （オトサカ）ち・・・違う！眠り病だ！

139- 僕は唐突に眠気が襲ってきて それに逆らえないんだ！

140- （トモリ）面倒な奴だな～

141- 今度はこっち、はい！

142- あなたの健康診断 書のコピー。

143- これを見る限り そんな病気 無し

144- さ テストの問題を解いてください。

145- （オトサカ） こんな茶番に付き合えるか！

| |
|--|
| |
| |
| |
| |